

田原理事長の講話(要約)

令和2年10月12日正午現在 福井県における新型コロナウイルスの感染状況は、

死亡:11名 入院:4名 うち、重症者なし

以上のように減少傾向にあり、ここ数日は新規感染者が発生していませんが、全国的にみると、まだまだ新規感染者が出続けていますので、十分に注意が必要です。

また、今からインフルエンザが流行する時季となるため、同時感染が懸念されます。インフルエンザの症状と新型コロナウイルスの症状との違いが区別しにくいことから、法人として取り組んでいる行動指針、また、福井県が出している「県民行動指針Vr.11」・「新しい生活様式」の実践例を継続して遵守しなければなりません。

私たちは入居施設で働いているということを心に留め、感染予防に対してより高いレベルで注意をしなければならないということを、今一度意識して行動してください。

感染した場合に、インフルエンザなのか新型コロナウイルスなのかを識別するためにも、職員一人ひとりが行動履歴の記録することが大事になります。

先日、福井県感染予防対策室の方が来所され、感染予防について指導がありました。が、「1タッチ(介護による接触) 1消毒」を習慣化し、法人のスローガンでもある「感染を、持ち込まない、見逃さない、広げない」を実行していただきたいと思います。